

企業と職能短大 人材確保で意見交換

鹿角地域振興局

県鹿角地域振興局主催の「秋田職業能力開発短期大学校との意見交換会」がこのほど鹿角市の同振興局で開かれた。管内で大学卒業者の採用を予定している企業と、同短大の担当者が意見交換し、地域全体での人材確保の促進を図った。



鹿角管内の企業担当者と秋田職業能力開発短期大学との意見交換会（県鹿角地域振興局）

意見交換会は企業と大学が相互の理解と連携を深める目的で2021年度から開催。同短大との意見交換会は初めてで、11社が参加して19日に行われた。

学務援助課の鈴木啓生課長が、大学生の就職状況などを説明。「2024年度修了生の就職先は、県内が64%、県外が36%」とし、「学生に地元企業の魅力を知ってもらうために、業界研究会や企業説明会を開

催している。県内就職を増やしたい」と述べた。企業からは「給与、福利厚生以外で企業に学生が望んでいることは」などといった質問があり、鈴木課長は「やりたい仕事か、安定しているかなどを望んでいる」などと返答した。